



2022年2月17日

報道関係各位

大和ハウス工業株式会社
代表取締役社長 芳井敬一
大阪市北区梅田 3-3-5

2025年日本国際博覧会 テーマ事業「シグネチャーパビリオン」への協賛が決定

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：芳井敬一）は、このたび、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）を象徴、代表する事業で、テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現する上で重要な取り組みである、テーマ事業「シグネチャーパビリオン」に協賛することが決まりましたので、お知らせします。

当社は、「人・街・暮らしの価値共創グループ」として、新たな価値を創り、活かし、高め、人が心豊かに生きる社会の実現を目指していますが、大阪・関西万博において、各界のトップランナーでもあるテーマ事業プロデューサーや会場に訪れる多くの方々とともに、未来を豊かにする新たな価値を創造するため、テーマ事業への協賛を実施することとしました。

2025年に大阪・夢洲の万博会場から未来社会の姿を発信するため、今後、テーマ事業「シグネチャーパビリオン」の実現を、共創により進めていきます。

（ご参考）

■「シグネチャーパビリオン」とは

テーマ事業は大阪・関西万博を象徴・代表する事業であり、8人の専門家がつくるパビリオンは、テーマをそれぞれの哲学から語り深める「署名作品」であることから、「シグネチャーパビリオン」と名付けられました。8名のテーマ事業プロデューサーが大阪・関西万博のテーマ「いのちの輝く未来社会のデザイン」を、それぞれ固有の観点から解釈、展開し、未来に生きる人々に繋ぎ渡すパビリオンを建設していきます。

■テーマ事業名及びテーマ事業プロデューサー

- ・「いのちを知る」福岡 伸一 氏（生物学者、青山学院大学教授）
- ・「いのちを育む」河森 正治 氏（アニメーション監督、メカニックデザイナー）
- ・「いのちを守る」河瀬 直美 氏（映画監督）
- ・「いのちをつむぐ」小山 薫堂 氏（放送作家、脚本家）
- ・「いのちを広げる」石黒 浩 氏（大阪大学教授、ATR 石黒浩特別研究所客員所長）
- ・「いのちを高める」中島 さち子 氏（音楽家、数学研究者、STEAM 教育家）
- ・「いのちを磨く」落合 陽一 氏（メディアアーティスト）
- ・「いのちを響き合わせる」宮田 裕章 氏（慶応義塾大学教授）

以 上

お問い合わせ先

広報企画室	広報グループ	06 (6342) 1381
	東京広報グループ	03 (5214) 2112